

2010 年度 (平成 22 年度) の温室効果ガス排出量について

1 温室効果ガスの総排出量

- ・ 2010 年度の温室効果ガス排出量は、75,204 千トン (CO<sub>2</sub> 換算)。
- ・ 京都議定書の基準年度 (原則 1990 年度) と比べ、2.3%の減少。
- ・ 前年度と比べると 0.3%の増加。

表 1 県内の温室効果ガス総排出量の推移

年度 温室効果 ガスの種類	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	基準年 度比 (%)	前年度 比 (%)	種類別 構成比 (%)
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	73,223	77,963	76,228	82,366	82,413	83,137	75,851	72,528	72,593	-0.9	0.1	96.5
メタン (CH <sub>4</sub> )	367	345	323	301	309	309	302	285	282	-23.1	-0.9	0.4
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	758	1,077	1,094	1,299	1,298	1,292	1,162	1,146	1,184	56.1	3.3	1.6
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	865	865	873	619	673	775	872	973	1,067	23.3	9.7	1.4
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	165	165	111	81	85	88	50	38	43	-73.8	14.3	0.1
六ふつ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	1,633	1,633	699	441	496	505	152	38	35	-97.9	-9.0	0.0
温室効果ガス 総排出量	77,012	82,049	79,328	85,108	85,274	86,106	78,389	75,008	75,204	-2.3	0.3	

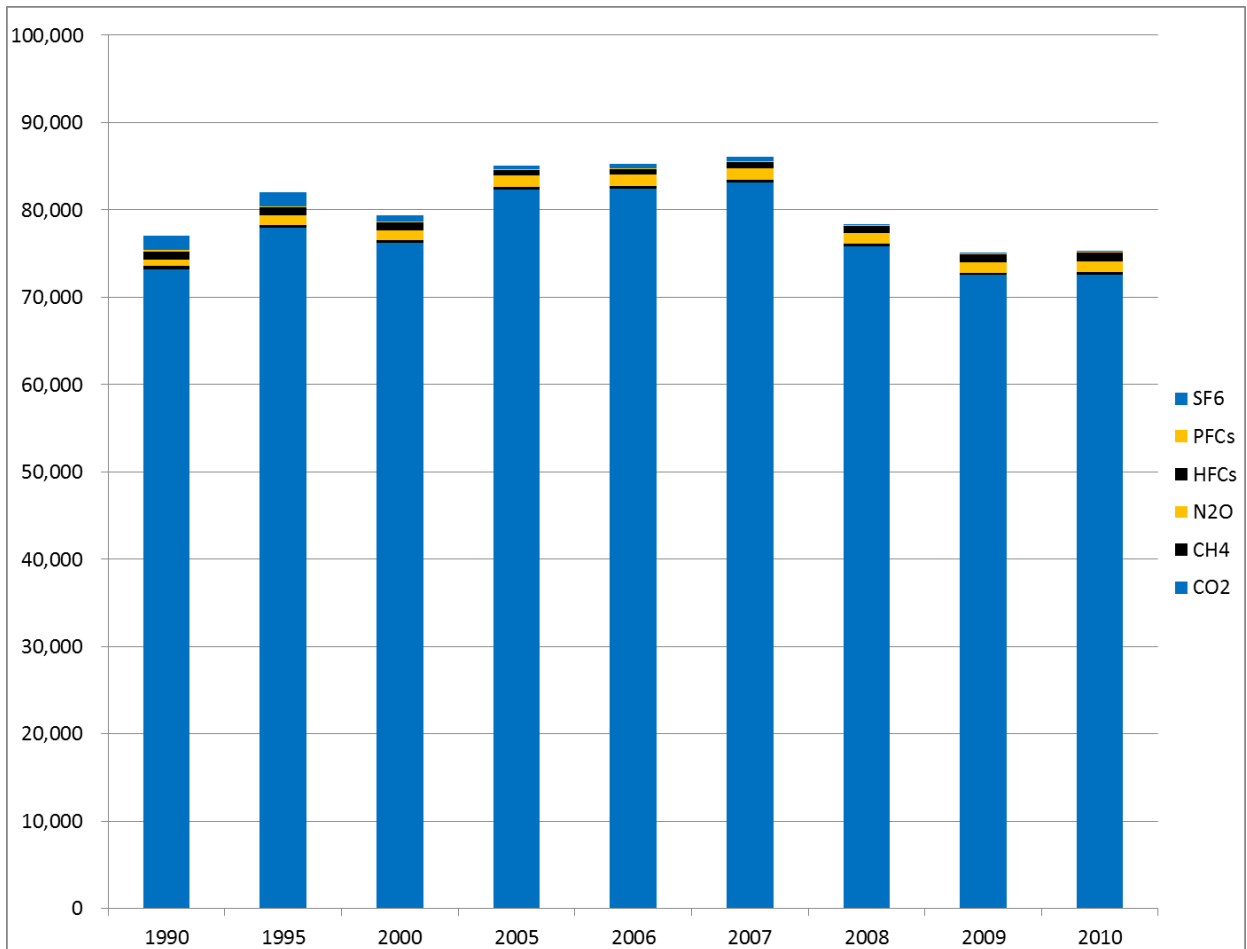


図 1 温室効果ガス総排出量の推移

## 2 部門別CO<sub>2</sub>排出量の分析

2010年度 72,593千トン (9.8トン/人)  
 基準年度比 0.9%減少(10.5%減少)  
 前年度比 0.1%増加(0.1%増加) } ( )内は一人当たりの排出量

表2 部門別二酸化炭素排出量の経年変化

年度		1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	基準年度比 (%)	前年度比 (%)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	産業	42,898	42,450	40,445	43,926	43,111	43,837	39,090	37,033	38,548	-10.1	4.1
	民生業務	8,387	9,787	9,814	11,550	12,206	12,200	10,566	10,171	9,374	11.8	-7.8
	民生家庭	7,315	8,655	8,761	9,522	9,872	9,927	9,375	9,201	8,629	18.0	-6.2
	運輸	11,041	12,931	13,544	12,638	12,260	12,080	11,825	11,448	11,270	2.1	-1.6
	エネルギー転換	1,481	1,880	1,409	2,123	2,203	2,293	2,184	2,152	2,401	62.1	11.5
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		2,099	2,261	2,255	2,607	2,761	2,800	2,810	2,524	2,371	13.0	-6.0
CO <sub>2</sub> 総排出量		73,223	77,963	76,228	82,366	82,413	83,137	75,851	72,528	72,593	-0.9	0.1

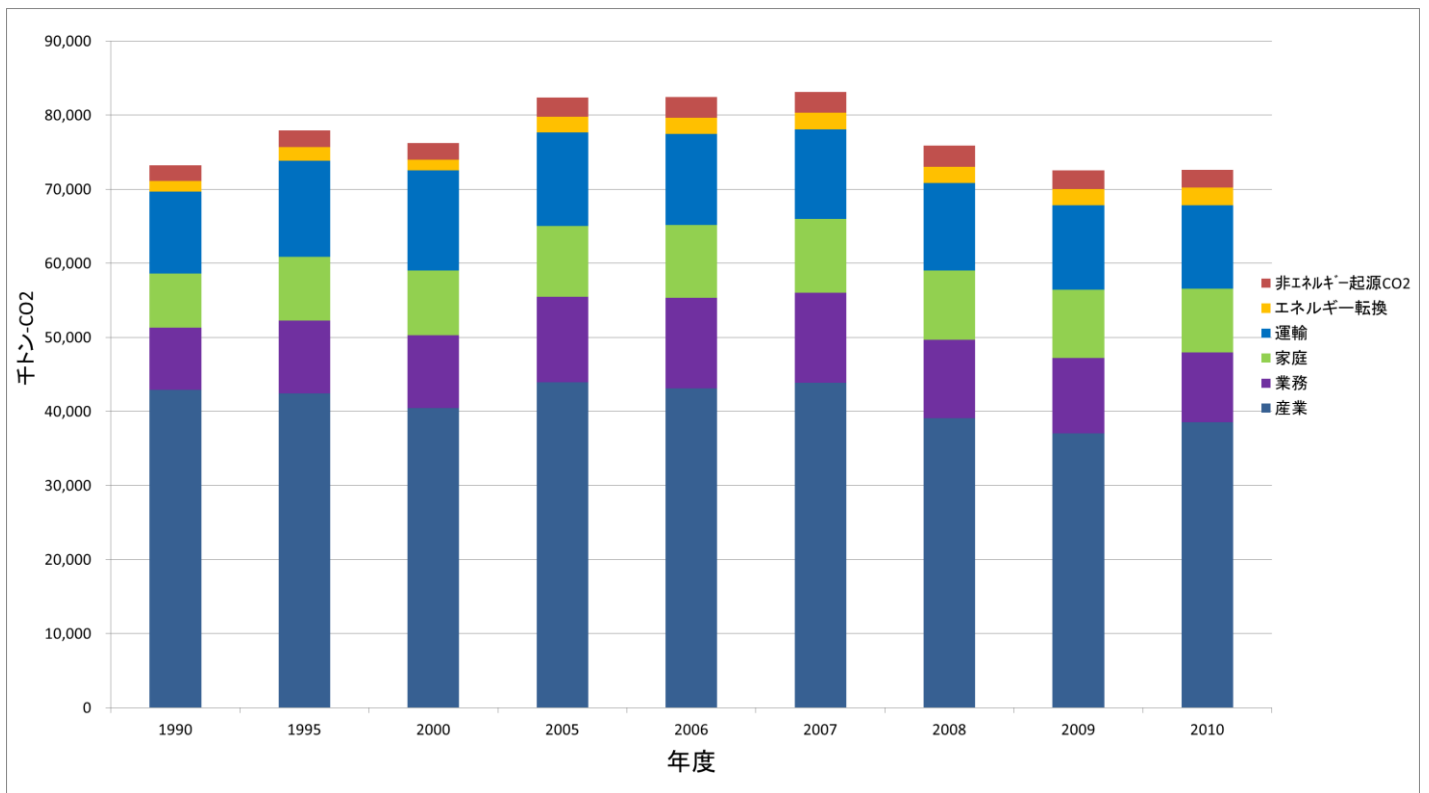


図2 CO<sub>2</sub>排出量の内訳

## 〔各部門の排出量について〕

### ○産業部門(工場等)

#### ＜生産額当たりの排出量＞

基準年度比で10.1%の減少、前年度比で4.1%の増加。

前年度からの増加は、景気回復に伴う排出量の増加等による。

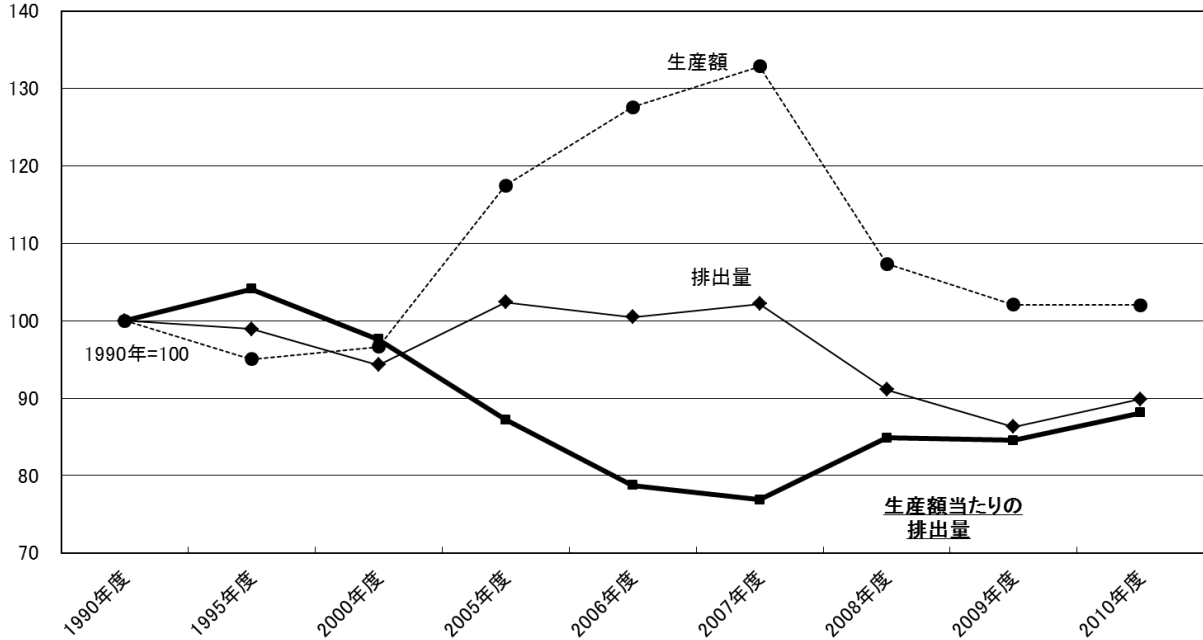


図3 産業部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移

### ○業務部門(オフィスビル・店舗等)

#### ＜床面積当たりの排出量＞

基準年度比で11.8%の増加、前年度比で7.8%の減少。

前年度からの減少は、電力量当たりのCO<sub>2</sub>排出係数の低下等による。

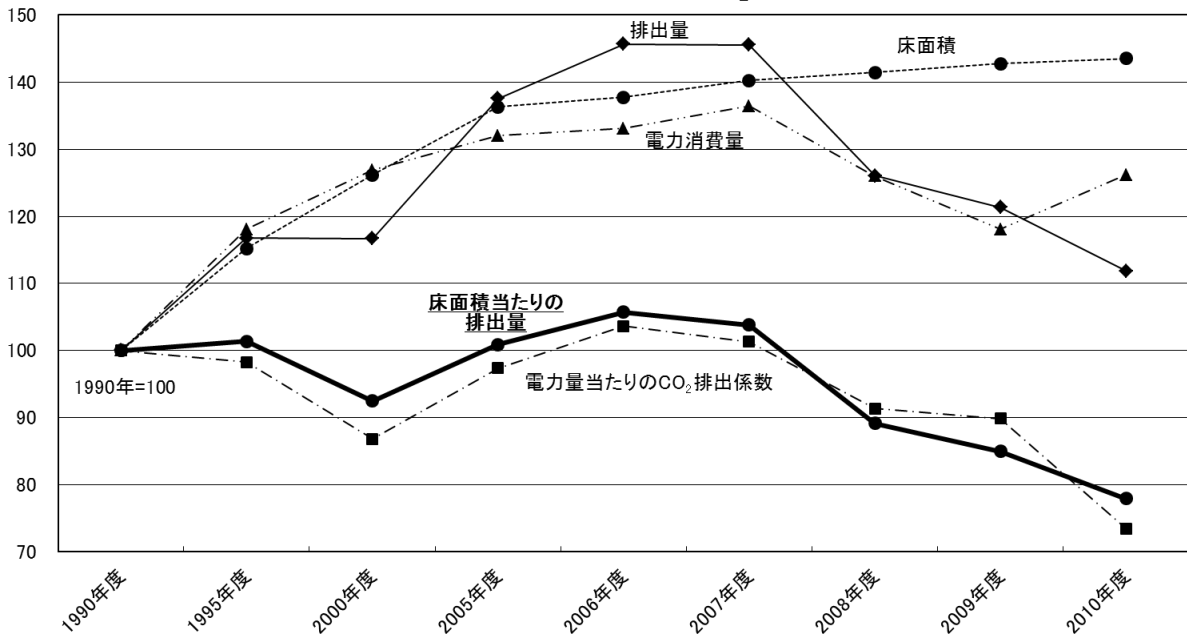


図4 業務部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移

## ○家庭部門

### ＜世帯数当たりの排出量＞

基準年度比で18.0%の増加、前年度比で6.2%の減少。

前年度からの減少は、電力量当たりのCO<sub>2</sub>排出係数の低下による。

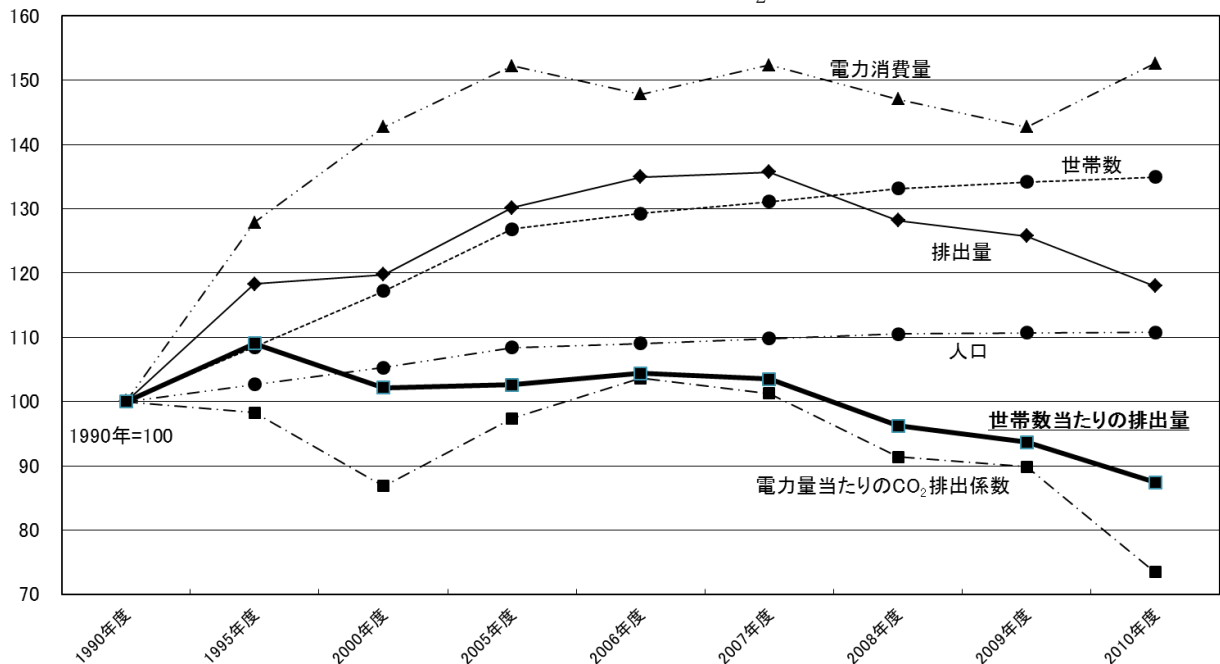


図5 家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移

## ○運輸部門(自動車・船舶等)

### ＜人口当たりの排出量＞

基準年度比で2.1%の増加、前年度比で1.6%の減少。

前年度からの減少は、走行量、保有台数の減少等による。

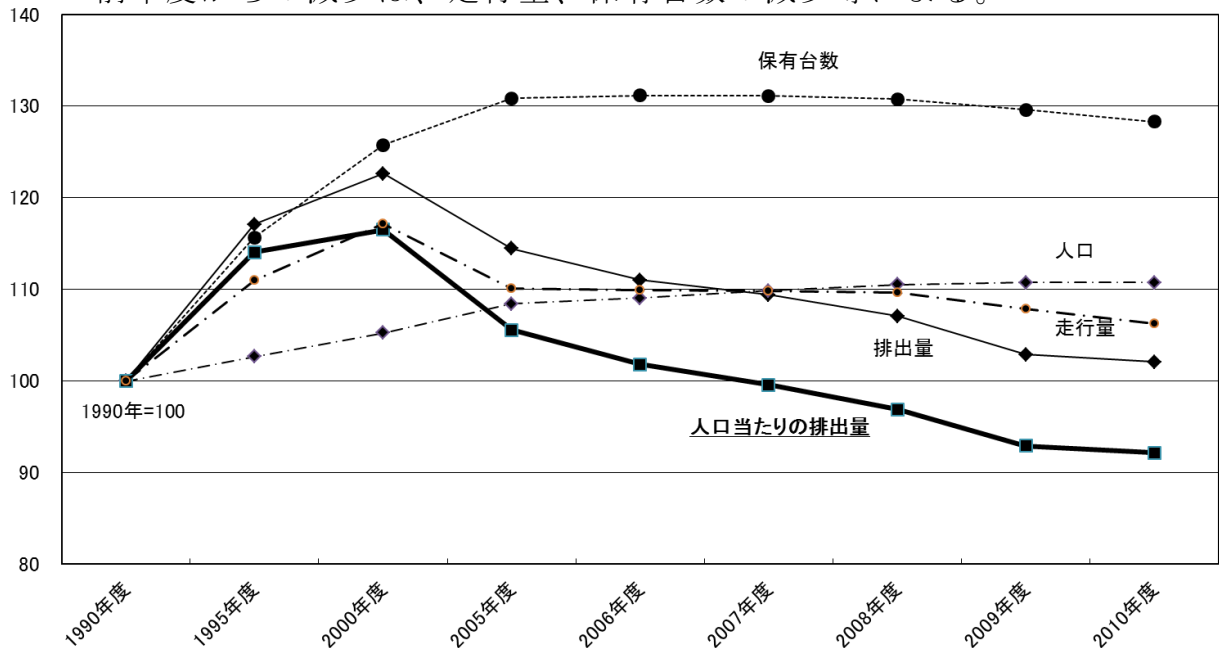


図6 運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移